

# 夢を実現する 夢を応援する

全日制課程普通科・単位制

**市立函館高等学校**  
学校案内2021

## 市函で最高の思い出を

第14期生徒会長

永宮 理 宇



市立函館高校は進学重視型単位制高校の学校です。毎年多くの生徒を多数の大学に進学させています。生徒は本校の校訓「何を求める」のもと、文武両道や学校行事に、多くの力を注いでいます。今年度はコロナの影響で出来ませんが、毎年特に力を注いでいるのは本校の学校祭である「柳星祭」です。学校祭準備期間を一週間設けており、生徒は自分たちの最高の思い出となる学校祭を作り上げます。また生徒が行灯を一から作り上げ、地域をめぐる行灯行列は、毎年地域の皆様や先生方から高い評価を受けています。

本校には「函館学」と呼ばれる市立高校ならではの科目があります。自分たちの住んでいる地域である函館を知り、函館の町を今よりも発展させます。地域の振興に向けて、自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する資質や態度を育てることを目的とした地域学です。

みなさんも、市函に入学して、充実した高校生活を送ってみませんか？

## 『自由』なイチハコ

第13期卒業生(令和元年度)卒  
(函館市役所勤務)

伊藤 小 雪



こんにちは。  
わたしは去年市函を卒業し、現在、函館市役所に勤めています。

受験勉強を本格的に始めたのは3年の5月、遅い方です。試験までの4ヶ月はとても濃い時間を過ごし、改めてこの学校の良さを認識しました。それは、部活でも勉強でも先生方は全面的にサポートしてくれるということです。アツい先生が多く、自分が頑張れば頑張るほど先生も応援してくれる、そんな学校です。逆にいうと、自分が何もしなければ先生からは何もされず、強要されることもありません。自分が動いて初めて、取り巻く環境が分かりやすく変化します。これはある意味、自由です。自分次第で何事も変わるということです。校訓である「何を求める」には、そんな校風が示されています。自分は何をしたいのか、何を求めたいのかも自分自身で考えて見つけていける自由な環境が市函にはあります。夢や目標がなくても市函ライフを送ることはできますが、ここに入るのならば非常にもったいないです。

また、市函の代名詞ともいえる柳星祭の行灯行列はもちろん、球技大会や遠足、予餞会でのあの一体感や盛り上がりは最高で最強です。市函でしか味わえない雰囲気や行事、環境を最大限に生かして、確実に目標達成をしていけると思います。

中学生や大学生とはまた違う青春が皆さんにはこれからあるのです。ぜひ市函で青春を謳歌してください！

## 『市函』だけの体験

見学旅行、春の炊事遠足、生徒自身が企画する柳星祭や予餞会など行事が盛り上がります。

## 学校行事



## 部活動

多くの部が全道・全国大会に進出

昨年度は陸上競技部・ラグビー部・文芸部・新聞局・放送局が全国大会に出場。今年度も美術部・新聞局が全国へ。



柔道・剣道・弓道・陸上・硬式野球・サッカー・ラグビー・卓球・バレーボール・空手道・バスケットボール・ソフトテニス・テニス・バドミントン・ハンドボール・山岳書道・美術・演劇・放送・図書・新聞・吹奏楽・国際交流・写真・茶道・文芸・軽音楽・漫画研究・チャリーディング・ボランティア



全日制課程普通科・単位制  
**市立函館高等学校**

〒040-0002 北海道函館市柳町11番5号  
TEL (0138) 52-0099 FAX (0138) 52-9955  
E-mail ichihako-daihyo01@ichihako.ed.jp  
URL <http://ichihako.ed.jp/>

# 市立函館高等学校

教育の3つの柱



校訓「何を求める」

市立函館高等学校長

谷川 敬一



北海道には280あまりの高等学校があります。しかし、疑問形の校訓は本校だけではないでしょうか。各HR教室の黒板の上にはこの校訓が置かれています。「自分の人生に何を求めるのか。求める人生に向かって、今をどのように生きようとするのか」と、この校訓を制定した 森 武 初代校長先生が語りかけているようです。

本校で大切にしていることのひとつが「主体性」です。これからの時代には、学んだ知識や技術を活用し、周囲の人々と協働し、課題を解決し、暮らしやすい社会を創造する力が求められています。そのような中で必要な資質のひとつが「主体性」です。「与えられるもので満足してはいけません。それでは先が見えてしまう。自分を知り、自分で考え、自ら取りに行く。では、自分は何を求めようのか。」生徒たちが自らへの問いかけを続けながら、日々の高校生活を送る学校、それが「市立函館高等学校」です。そして、本校では卒業までに生徒たちに身につけてほしい以下の10の資質・能力を「市函DP」と呼び、あらゆる教育活動で意識してもらっています。

- ①基礎力 ②思考力 ③主体的学習力
- ④傾聴力 ⑤自己理解・自己管理能力
- ⑥他者理解力 ⑦計画実行力
- ⑧発信・表現力 ⑨ストレスコントロール力
- ⑩実践力

進路に応じたきめ細やかな指導体制

総合的な探究の時間でのグループ活動



【個性を伸ばす授業】

- ・少人数制授業の展開
- ・55分6時間授業
- ・全校体制の『小論文』指導
- ・国公立大学、難関私立大学にも対応したカリキュラム
- ・大学レベル（連携）の専門的な講座、科目

市立函館の『単位制』

単位制とは学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば卒業を認めるシステムです。学年制に比べて、教科・科目の選択の幅が増し、生徒の個性・能力・適性・進路により柔軟に対応することができます。

【単位制】の授業イメージ

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32			
1年次	国語総合	世界史A	数学I	数学A	物理基礎	生物基礎	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	英語表現I	
2年次	現代文B(前半)				選択科目																														
3年次	現代文B(後半)				選択科目																														

進学重視型単位制高校

生徒がそれぞれの個性を伸ばし、興味・関心・進路希望に応じた、多様な講座・科目を選択できるようにしています。

仲間が育てる人間性と社会貢献の姿勢

【市函の人づくり】

- ・ホームルーム活動の重視
- ・学校行事・部活動の充実
- ・カウンセリング体制の充実
- ・地域との交流活動への参加
- ・ボランティア活動への参加

『ピア・サポート』

ピア・サポート活動とは、生徒同士が困っている仲間を助ける支援活動です。活動を通して思いやりあふれる学校風土の醸成を目指します。



『メンタルサポート』

スクールカウンセラーを配置して全校体制で心の問題をサポートします。また、構造的グループエンカウンター（S GE）をHRで実施することで、クラスでの人間関係作りを支援しています。

人間性を育てる伝統を継承・発展

『人づくり』の伝統を活かし、様々な活動を通して人間力を向上させ、社会や文化に貢献できる人材を育てます。

【未来を拓く教育】

- ・地域を学ぶ『函館学』の設定
- ・課題解決型の『地域探究学習』
- ・地域の文化施設の有効利用
- ・文化活動への積極的な参加

『函館学』

国際性と進取の歴史を持つ函館の伝統や文化を学び、将来を考える講座です。通常の授業とは別に時間が設定されており、3年間を通じて函館を学びます。

『地域探究学習』

地域の事業所の協力を得て設定された外部講座を自由に選択し、主に夏休みなどに体験学習を行います。地域の人と触れあう中で、伝統や文化に立脚した幅広い視野や未来を作り出していくために必要な資質能力の育成を図ります。

『海外留学制度』

21世紀のグローバル社会に対応できる人材の育成を図るため、本校生徒を留学生として海外へ派遣しています。（一般財団法人相馬報恩会からの寄付金により実施。）令和元年度は10名が7月～10月の約3か月間、オーストラリア・ニューサウスウェールズ州でホームステイしながら現地の高校で学びました。



シドニーオペラハウスを見学

『地域に学び、地域で学ぶ』グローバル人材の育成

地域創生☆政策アイデアコンテスト2019 道経済産業局長賞受賞

函館学の一環として始まった地域探究学習の成果としてコンテストに応募。「朝夜景で地域活性化」で最終審に賛同内閣府で発表しました。



内閣府にて